

福祉部長目標（令和8年度組織目標）

● 福祉部長 瀧澤 恵（たきざわ めぐみ）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを



● 福祉部の仕事

福祉部は、福祉総務課・生活福祉課・障害福祉課・高齢者支援課・介護保険課・地域福祉センターの6課で構成され、地域福祉の向上をめざして、高齢者及び障害者に関すること、生活保護に関すること、介護保険に関すること、地域福祉に関することなどを主な仕事としています。多様化・複雑化する福祉課題に対し関係機関等と連携しながら業務を進めていきます。

● 福祉部の目標

超高齢化社会や物価高騰など社会情勢の変化に対応し、関係機関と連携しながら、各種福祉施策の充実を図ります。障害のある・なしに関わらず、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし、高齢者をはじめ全ての方が生きがいや希望を持てるよう取り組みを進めます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業／手話言語条例の制定	共生条例に基づき社会的障壁の除去の推進を図るため施策を進めます。手話の理解および普及促進を図るため手話言語条例を制定します。	障害のある人もない人も共に取り組める「ワークショップや共生条例の周知啓発にかかる研修等を行い、理解を深めます。関係団体等とのヒアリングや障害者施策推進協議会での協議、パブリックコメントを通して条例の内容を検討します。	
2	ねんりんピック交流大会の実施	ねんりんピック彩の国さいたま2026において、所沢市で開催される交流大会等と関係機関・団体等と密接な連携を図り、円滑に運営します。	スポーツウエルネス吹矢交流大会、健康づくり教室、おもてなし・観光PRなど、高齢者をはじめ、誰もが楽しめる機会や場を創出し、共に支え合う機運を高めます。	
3	認知症施策推進事業	認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるための施策を推進します。	高齢者福祉計画・介護保険事業計画と一体的に認知症施策推進計画を策定します。認知症施策を総合的かつ計画的に実施することで、認知症の人を含めた国民一人一人が、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合う共生社会の実現に向けた取組を推進します。	
4	生活困窮者自立促進支援事業	様々な課題を抱えて地域で孤立している生活困窮者の自立に向けた支援を行います。	社会参加に向け支援を必要とする方に対し、丁寧な対応により自立支援の強化を図ります。	